

8月21日（月）その59 ちょっちゅね！具志堅用高の偉業

15日（火）のプロボクシングWBC世界バンタム級タイトルマッチで具志堅用高の記録に並ぶ13度目の防衛戦に挑戦した34才のチャンピオン山中慎介は、挑戦者で同級一位のルイス・ネリ（メキシコ）に4回TKOで敗れ、13回防衛はならなかった。2010年長谷川穂積がバンタム級で10回防衛で散り、2016年内山高志がスーパーフェザー級11回防衛で散った。現役の世界チャンピオンで最多防衛は、WBAライトフライ級の30才・田口良一の6回となった。これで当分具志堅の記録を破るものはいなくなった。具志堅用高の記録がいかに偉大なものであったか、改めて浮き彫りとなった。

具志堅用高の実家は、旧琉球王国の士族の家系「具志堅親雲上（ペーチン）用易」を元祖とするようである。一族は名乗り頭に「用」の字を用いている。彼は興南高校3年の時、インターハイ・モスキート級で全国制覇をしている。拓殖大学に推薦入学が決まり、オリンピックで金メダルを取ることが目標に上京したが、空港で待ち受けていた協栄ジムのマネージャーに半ば強引に連れて行かれて、説得されて、協栄ジムに入ったそうである。具志堅用高は21才で世界チャンピオンになり、WBAライトフライ級で5年間で13回チャンピオンを防衛し、金字塔を打ち立てた。14度目の防衛戦は、初めて出身地の沖縄（当時の具志川市）で行われたが、彼は防衛に失敗して引退した。

具志堅用高は私と同年である。おそらく同年のウチナンチュの中で、一番全国的に名前が知られていて、自分の実力だけで一番お金を稼いだ人だと思う。後々のインタビューで彼が「14回の世界戦でもらったファイトマネーは10億円以上、多いときには月収7000万円あった」と答えていた。

教員の生涯賃金は、どれくらいだろうか？詳しくは計算したことはないが、ざっと2億円弱くらいかな？

具志堅は太田プロダクションに所属するタレントとしても、「クイズ・ヘキサゴン」などでブレイクした。気取ることなくオバカキャラ全開で、少年のような純真な心を国民が感じるのだろう。今でもクイズ番組を中心にテレビの出演回数も多く、かなり稼いでいるものと思われる。

また東京で「白井・具志堅スポーツジム」を経営し、会長として後進の育成にも力を入れている。今年の5月には、比嘉大吾が前王者ファン・エルナンデスを破ってWBC世界フライ級王者となり、所属ジムから初の世界チャンピオンが誕生した。比嘉大吾は中学まで野球をやっていたが、ひよんなことから具志堅用高が強豪をぶち倒すビデオを観て心を奪われ、高校からボクシングを始めたそうだ。

10年くらい前だったか、具志堅語録を集めた「ちょっちゅね」という本を買って読んだことがある。「家紋は、コンクリート」、「母校の伝統は、ナショナル」、「お父さんは、海を歩いています」……などの具志堅語録。クイズ番組で、好きな数字を聞かれ「ラッキーセブンの5」と発言したそうだ。正直彼がインタビューを受けるときには、何を言い出すのかと、同じウチナンチュとしてハラハラドキドキしたもんだ。

「安室奈美恵」や「りゅうちえる」もそうだけど、今の時代、一芸に秀でていて運をつかんだものは、巨万の富を得る!!

8月22日（火）その60 甲子園には魔物がいる「大阪桐蔭VS仙台育英」

興南高校は負けたけど甲子園では連日熱戦が繰り広げられている。今日はいよいよベスト4の激突。天理 VS 広陵、花咲徳栄（とくはる）VS 東海大菅生（すがお）の激突だ。一番面白いのはベスト8が激突する準々決勝と言われるが、今年は大差の試合が多かった。むしろ19日のベスト8を決める戦いが壮絶だった。中でも第四試合「大阪桐蔭 VS 仙台育英」の試合は、語り継がれる試合になった。最終回に魔物が潜んでいたのだ。

今年の大会にしては珍しく終盤まで両チームとも0が続く投手戦。7回の守備中に大阪桐蔭の一塁手中川卓也選手は、走り込んでくる仙台育英の選手と接触し、左足を負傷した。8回その中川選手が適時打を放ち、大阪桐蔭が1点を先取した。続く9回、ツーアウトをとった大阪桐蔭の柿木連投手。その後1、2塁となったが、次の選手は平凡なショートゴロ。ショートの選手が難なくさばき、一塁手中川に送球。余裕でアウトのタイミング。柿木投手は笑顔でグラブをたたき、ベンチから控え選手が飛び出してきて、テレビのアナウンサーは、試合終了！と絶叫した。ところが、一塁塁審の両手は横に広げられていた。これがそのときの写真です（見せる）。確かに一塁手の足が塁から離れている。

ツーアウト満塁となると、甲子園の空気が変わった。魔物が出てきたのである。柿木投手は「整理ができず、何が起こったのかわからなかった」と述べている。仙台育英の応援団だけでなく、一般観客までもがタオルをふり回していた。中川選手は「怖くて恐ろしくなった」と後で述べている。まるでサッカーのアウェーでの試合のような雰囲気となった。最後は柿木投手がサヨナラ打を許し、大阪桐蔭の春夏連覇が消えた。

ネットニュースによると、今大会、高野連などでつくる大会本部は、出場校にタオルを振り回す応援の自粛を求めている。「タオル回しによって、応援が一方に偏る異様な雰囲気が球場を支配し、勝敗に影響してしまった」ことをあげている。確かに過去にも、考えられないような球場全体の応援で、流れの変わった試合をいくつか記憶している。昔から判官（ほうがん）びいきの空気が甲子園にはあり、負けていても一生懸命にやっているチームに暖かい応援が送られる。かつて復帰前の沖縄のチームが、そうだった。

しかし球場全体がそうになってしまうと確かにアウェー状態となり、公平ではなくなってしまう。

その前の第一試合「盛岡大付属 VS 済美」は今大会を象徴するような空中戦が繰り広げられた。5回に盛岡大付属が満塁ホームランを放ち6-2とすると、その裏済美も史上初の「満塁ホームラン返し」で6-6の同点。済美がまたもやホームランでリードしたが、9回盛岡大付属は植田選手のホームランで追いついた。迎えた10回、盛岡大付属は植田選手が2打席連続の3ランホームランを放ち、突き放した。今大会は準決勝までで大会史上最多の64本のホームラン（これまでの記録は60本）が飛び出している。

どこが優勝するのか全く予想できないが、個人的には広陵高を応援している。理由は単純で、広陵の中村捕手に日本中が注目しているから。彼は、「ホームランで清原さんを超えたい（中村4、清原5）し、記憶にも記録にも残るキャッチャーになりたい。」とインタビューで答えていた。

8月23日（水）その61 運慶とミケランジェロに見えたもの

鎌倉時代の天才仏師「運慶」は、奈良・東大寺南大門の金剛力士立像（仁王）をはじめ、日本の彫刻界を代表する国宝・重要文化財級の作品を数々残している。夏目漱石の短編小説集「夢十夜」の第六夜は、運慶の話である。評判の運慶が仏像を彫っているのを、多くの野次馬が見ている。漱石は、野次馬に次のように語らせている。「なにあれは、眉や鼻をノミで作るんじゃない。あの通りの眉や鼻が木の中に埋まっているのを、ノミとツチの力で掘り出すまでだ。まるで土の中から石を彫り出すようなものだから、けして間違うはずがない」。

ならばと、「自分」も切り倒してあった木をかたっぱしから彫ってみた。しかし木の中に仏像は埋まっていなかったと、話にオチがついている。

仏師運慶は、生涯にわたる修練の積み重ねで、まるで大木の中に仏像が埋まっているかのように、彫る前からくっきりと見えたのである。

ミケランジェロの最高傑作の一つと言われている「ダビデ像」は、16世紀に作られた5 m 近くもある巨大な像である。手の血管まで再現されているのを知っていますか？（写真を見せる。）

左半身は体重をかけずに足を外側へ差し出してややリラックスしているのに対し、右半身には戦いの前の緊張感が溢れており、静脈の浮き上がった右手や堅く踏みしめられた右足、わずかによじらせている胴体の様は、ダビデがいままさに攻撃を開始しようとしている様子を表しているのだそうです。

ミケランジェロも運慶と同じように、素材の大理石をじっくりと観察して、その中に彫刻作品がすでに埋め込まれているように見えたそうである。

さて、皆さんは教育の専門家として、子ども達をじっくりと観察していると思いますが、子ども達の何が見えますか？

子ども達の「よさ」や、その延長線上にある「子どもの理想像」が見えますか？子どもが大人になって、「あの時の先生のひと言が・・・」と語るような話をよく聞きますね。自分の価値を一方的に押しつけるのではなく、子どもの側に立って考え、その子にとっての理想像を真摯に掘り出してやるのが、「あの時の先生のひと言が」につながるのでしょうか。

しっかりと子どもを見て、子どもが自分で気づいていない長所やよさを見つけて、教えてあげることが大事です。そのときに有効なのが「褒めて伸ばす」ことです。なぜなら脳は、脳内の報酬物質であるドーパミンが放出されたときに、その行動が強化されるのだそうです。有森さんではありませんが、「自分で自分を褒めてあげる」。そのことがドーパミンの放出を促し、強化学習が促進されるのだそうです。（茂木健一郎の本を参照しました。）

2～3年前、昔の教え子T君と30年ぶりに再会してこう言われた。「卒業するとき先生が、『おまえは自営業が似合う』と言った。自分は今の仕事を20年以上やっていて自営業である。あのときなんで先生にわかったのか、今でも不思議である。」と、尊敬の眼差しで私に言った。・・・私はにこにこ笑って対応したが、全く覚えていなかった。ウーマクで、よく自己主張する彼は、人に使われるような仕事は勤まらないだろうなど、内心想っていた。それでそう言ったのだと思う。「子どもの側に立って考え、その子にとっての理想像を真摯に掘り出してやった」とは、口が裂けても言えない。でもまあ、結果オーライかな？T君、まさかネットでこれ見てないよね！（笑）